

入選

水の大切さ

「水」は人々の命を支えているとても重要な資源だ。日本に暮らしていると当たり前のように使っている、きれいで安心な水、水が無くて困るということとはほとんどないが、世界では「水不足」が問題となっている国がたくさんある。

アフリカをはじめとする発展途上国地域では、衛生環境が悪く、水も汚れていて安心して飲める水が近くになく、池や川などから水を汲んでいるそうだ。「安全な水」を汲むために毎日数キロメートル往復していて、その水汲みの仕事は、女性や子供たちが行っているという。同じ地球上に住んでいる私達とはかけ離れた生活にショックをうけた。今も熱い中数キロメートル水を求めて歩いている方々のことを考えると、改めて水の大切さを感じる。また、水汲みのために学校も通えない子供たちがいると聞

福島県立会津学鳳中学校 二年 宮野^{みやの} はるな

き、悲しいなあと思った。污水处理されていない水をそのまま飲んだら身体に悪いし、最悪の場合、命を落としてしまう可能性もある。安全な水の確保は人々の健康や命の問題につながっていく。実際、世界では毎年百八十万人の子供たちが、水と衛生設備の不足で起こる健康問題で命を落としているのだという。これは本当に深刻な問題だと思う。早く水の環境が整って、だれでも安全な水が得られるようになってほしい。そして、子供たちがこれ以上、命を落とすことのない世の中になってほしいと思う。また、長い道のりを歩く水汲みからも解放され、子供たちが元気に学校へ通えるような未来になってほしい。

日本のように恵まれた環境にいる私達は、水道をひねるだけで安全できれいな水を得ることができ、

苦勞をしないで、一日にたくさん量の量を使っている。日本人一人当たりの生活用水の使用量は、世界第二位という。私はこのことにとっても驚いた。考えてみれば私も水を大切に使用していなかつたなど反省することがたくさんある。例えば、歯みがきの時にうっかり水を流しっぱなしにしていたり、お風呂のシャワーの水を必要以上に使っていたことがあつたりした。節水のためにどんな工夫をしたらよいか考えてみた。まず、歯をみがく間は水道をとめること。お風呂でのシャワーの使い方を考えること、お風呂の残り湯を洗たくの時に再利用すること。食器を洗う時はたらいなどに水をためて洗うこと。植物の水やりは雨水などを利用する、などだ。少しのことでも毎日の積み重ねでずいぶん変わると思う。改めて節水を心掛けようと思う。

日本でも自然災害などの緊急事態が発生したとき、水のない不自由な生活を強いられることが多い。テレビでも、給水所に行列ができる姿をよく見かける。水不足の生活が長引くほど、避難所で生活している人たちは苦しい日々を送ることになる。水

が使用できなくなると、飲料水もそうだが、お風呂も入れないため衛生環境の悪化で病気になる人も多い。また、感染症も広がる。

本当に水はとても大切な資源だと改めて感じる。その限りある資源を私たちは大切に使うよう心掛けなければいけない。もう一つ大切なことはなるべく水を汚さずに使うこと。石けんの使い過ぎや食べ残しを減らすことなど一人一人が気を付ければ地球環境にも優しく、地球温暖化防止につながる。これからの未来のために、一人一人が気を付けていくことが私たちの責任であると思う。生きていくうえで大切な水、今日も使えることに感謝して過ごしたい。